

「和魂洋才」は劣等複合」のゆゑん

「福沢諭吉以下の明治洋學者達を、私は高く評価しえない。彼等の多くは、『和魂』も何もあつたものではない。所詮は（上級武士＝出世慾＝利己心に對する）地方下級武士の劣等感（A）に基づいた立身出世主義（A）が國家有用の實學といふ考へと結びついたのに過ぎまい」・・・とは即ち、「上級武士＝出世慾＝利己心」に對する劣等感（A的不満）⇒和魂「B」滑り込みの自己欺瞞⇒國家主義（C' 安全地帯への定着）」と言ふ日本の精神主義的構圖（テキストP 9 圖）の類型をそれは示す。その爲自己の據り処である國家主義（C'）の後盾（C 2）として洋才が必要であり、故にそれは單なる實學（國家「實益のための學」）で充分なのであつた。（當發論文P 3 から）

□C2（洋才・實學＝國家「實益のための學」）は以下「C' 國家主義（安全地帯）」の後盾
 ==⇒

==⇒□C' [大義：國家意識・近代國家建設・國家主義]

*左矢印：（富國強兵に秘めた
 自己擴大欲・立身出世主義 D2）

*中央矢印：「自尊と自己正當化」
 「似非實在感（D3）」

*右矢印（D1：國家が自分に作る宿命）

